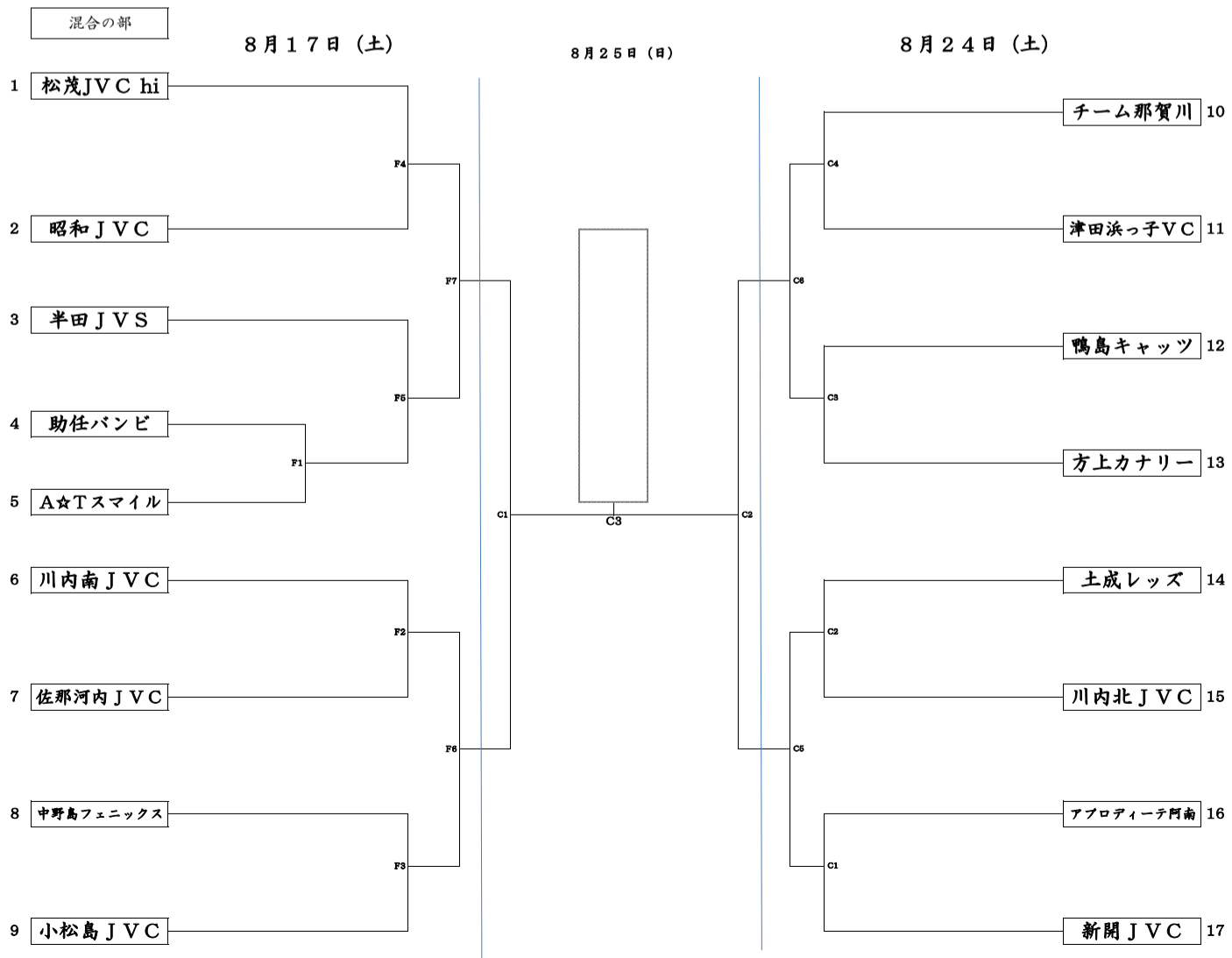


令和6年度 第37回徳島県バレーボール小学生選手権大会 組み合わせ表 No.1

徳島県小学生バレーボール連盟

1. 日 程 8月17日(土) とくぎんトモニアリーナ (9:30 競技開始)
- 8月24日(土) 日本フネン市民プラザ (9:30 競技開始)
- 8月25日(日) 日本フネン市民プラザ (9:30 競技開始)
2. 会 場 とくぎんトモニアリーナ [D E F 各コート]
- 日本フネン市民プラザ [A B C 各コート]
3. そ の 他
 - (1) 混合の部の組み合わせ表で「2番」を引いたチームのキャプテンは、開会式で選手宣誓を行う。
 - (2) 各コート第1試合目のチームは、「**会場設営協力者**」を1名以上設営に派遣し、会場の設営に当たること。その際の設営は、自チームが最初に試合をするコートとする。最終日は役員で行う。
 - (3) 第1試合目のプロトコール以後、アリーナへの入場が許可されるのは、試合をするチームのベンチスタッフ・選手及び審判員・コートオフィシャル・点示員、本部役員のみである(特別な場合を除く)。
 - (4) 試合においてベンチに入る監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、公益財団法人日本スポーツ協会認定のバレーボールコーチ1~4のいずれかの資格、または日本小学生バレーボール連盟認定指導者の資格を有し、試合時には証明書等を胸に下げているなければならない。
 - (5) 監督・コーチ・マネージャーとしてベンチに入るチーム役員の服装は、短パン・Tシャツは不可とし、チームで統一された同一メーカー同一規格のものを着用し、かつ上衣はえり付きシャツであること。また、左胸部に必ず規定のマークをつけること。
 - (6) 各コート第3試合目の両チームは、第1試合目のコートオフィシャルを必ず出すこと。その際、抽選番号の小さいチームからラインジャッジ2名並びに記録員、もう一方のチームからラインジャッジ2名を割り当てる。以後の試合は、前試合の敗者チームからコートオフィシャルを出すこと。敗者チームの選手は、試合終了後、次の試合のコートオフィシャルをするため、速やかに着替え等の準備をして記録席前で待機すること。(試合間は5分) 試合の進行状況によっては例外もある。
※最終日のコートオフィシャルは、Aコートは第3試合目の両チーム、Cコートは第2試合目の両チームに割り当てる。
 - (7) 大会は、基本的に「帯同審判員制」で運営するため、勝者・敗者の別なく審判に協力すること。各コート第3試合目の両チームの帯同審判員は、第1試合目の審判をするため、第1試合目のプロトコールまでに所定のコートへ集合すること。以後の試合は、前試合の両チームの帯同審判員が審判を行う。試合間は基本的に5分のため、自チームの試合終了後は速やかに着替え等の準備をして、記録席前で待機すること。
 - (8) 試合経過によりコート及び試合順を一部変更することがある。
 - (9) 大会会場での「マナーの向上」に努めること。
※1 各チーム「ゴミ袋」を持参のうえ、自チームのごみは責任を持って持ち帰り、会場の美化に努めること。
※2 会場の最終試合に当たっているチームを中心に、コート・観覧席をはじめ、会場の玄関・通路・トイレなどの清掃・点検に協力すること。
※3 ボット・ビデオカメラ・携帯電話等の使用で会場の電源を使うことはできない。
※4 下足の扱いについては、入り口・玄関等へは置かず、必ずチームでひとまとめにして保管すること。
※5 上履きと下履きの区別を明確にすること。トイレでの履き替えが徹底できるよう指導しておくこと。
※6 体育館の玄関やロビー観客席等、アリーナ以外の場所でボールを使用しないよう指導しておくこと。
 - (10) 各会場では、会場設営ができるまで練習は厳禁となる。会場責任者が設営完了のアナウンスをするまでは、基本的にアリーナの外で待機すること。



令和6年度 第37回徳島県バレーボール小学生選手権大会 組み合わせ表

